

2023年度 国連ユースボランティア 帰国報告会

UN Youth Volunteers Debriefing Symposium

日時:2024年3月16日(土)

13:30-16:00 (13:15開場)

形式:Zoom (Webinar)

定員:500名(先着順)※要事前込(定員になり次第締め切ります。)

言語:日本語

申込方法:以下URL/QRコードからお申込み下さい。

※申込登録後、ご登録いただいたE-mail宛に参加用URLが送付されます

申込期限:2024年3月14日(木) 23:59



申込みは[こちら](#) もしくは QRコードから

※ご登録いただいた内容は本帰国報告会実施にのみ使用し、その他の用途では使用しません。



主催:関西学院大学(基幹校)

協力:国連ボランティア計画(UNV)

お問い合わせ:「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センター

TEL:0798-54-6046

E-MAIL: kgustaff-iv@kwansei.ac.jp

立教大学グローバル教育センター

国連ユースボランティア担当

E-MAIL: cghrd-unyv@rikkyo.ac.jp

「国連ユースボランティア」として2023年9月から約5カ月間、ガーナ、サモア、タイ、ナミビア、ネパール、ヨルダンの国連機関に派遣され、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて活動してきた学生たちが集い、現地での学びや経験を語り合う帰国報告会をオンラインで開催します。

立教大学からはガーナの国連国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)で活動したGLAP4年次の学生が参加します。

国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、国連ユースボランティアとして「何ができるか」を模索しながら活動に取り組みました。今回の帰国報告会では、それぞれが置かれた様々な状況下で経験したこと、学んだこと、得たことを共有し、国際貢献活動に取り組むことの意義、さらには国連ユースボランティアが一般的な留学プログラムとどう違うのかについて考えます。

※国連ユースボランティア：国連ボランティア計画(UNV)との協定に基づき実施するプログラム。UNVのコーディネートにより、学生たちはアジア、アフリカ、オセアニアなどの主に開発途上国の国連機関に約5ヶ月間派遣され、現地で国連職員とともに広報やリサーチなどの活動に従事します。2004年に派遣を始めて以来、100名を超える学生が参加しています。2024年2月現在、関西学院大学、明治大学、明治学院大学、立教大学が参加しています。

【スケジュール(予定)】

(敬称省略)

◆13:30-13:50

開会挨拶 「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センター長 神余 隆博
ビデオレター 外務省地球規模課題総括課長 有馬 孝典
ビデオレター 国連ボランティア計画(UNV)事務局次長 横須賀 恭子
(司会進行:関西学院大学 国際連携機構事務部 長峰 優莉亜)

◆13:50-14:50

第一部:活動報告会

派遣生:八木 颯斗(明治大学)、加藤 結衣(明治学院大学)
堤 万里子(立教大学)、鹿子生 由依(関西学院大学)

◆休憩

◆15:00-15:55

第二部:パネルディスカッション

モデレーター:立教大学 グローバル教育センター特任准教授 高井 明子
派遣生:八木 颯斗(明治大学)、加藤 結衣(明治学院大学)
堤 万里子(立教大学)、鹿子生 由依(関西学院大学)
伊藤 美彩(関西学院大学)、林 優花(関西学院大学)

◆15:55-16:00

閉会挨拶 「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センター 副長 關谷 武司